

<http://language.sakura.ne.jp/s/>

神戸大学石川慎一郎研究室授業評価 2017 年度分（ウェブ公開）

2017 年度（平成 29 年度）前期

神戸大学石川慎一郎研究室 English Communication 中間授業評価アンケート結果

実施日：2017/5/31（Q1 の 7 週目）

実施方法：オンライン（無記名）

回答率：当日の出席者全員

月 2（経済・経営 1 年） N=39

●総合満足度、および、本授業の格となる 3 理念（ELF, 論理思考, 世界の時事問題を中心とする内容志向）に対する理解度（いずれも 10 点満点）

経済・経営	満足度	理解度		
		ELF	論理思考	内容志向
Av	8.44	4.05	3.72	4.10
SD	1.37	0.69	0.76	0.64

●評価できる点（学生コメントを未編集ですべて転記）

発音の指導が丁寧／説明がわかりやすい／先生が授業通して英語で話すので、耳が鍛えられる。／能動的な活動が多かったこと／・全時間英語での授業／・テキパキとした授業進行／スピーキングやスピーチ、ディクテーションなど幅広い分野を学習できること／英語による授業／世界情勢と関わりある話題を取り上げている／現代起きている問題などについて英語で学ぶのがとてもたのしかった／授業がすべて英語で行われかつ、聞き取りやすくわかりやすい。／英語で話す機会が多い／毎回英語で人と話す機会があって、よかった。／先生の英語が聞き取りやすい／実用的な英語を学べる点／授業がすべて英語で行われるが、難しい単語は日本語で言ってくれるためわかりやすかった。／発音の練習ができるところ。／発音がわかりやすい。／スピーチやフリートークなど、ほかの人と英語で話す機会が多いこと／ELF 英語について学べたのがいい経験になった。／授業がすべて英語で行われるのでリスニングの練習になる／石川先生の聞き取りやすい英語の発音／すべて英語で授業をしてくださること。／アルファベットの正しい発音がわかる／授業に能動的に参加できる点／すべて英語で行われるので、とても集中できる点。／実質的な英語の勉強ができる／トークが楽しい／先生が学生が理解できるような英語を話してくれること／パワーポイントが見やすい／テンポがいい／授業内でさまざまなことをしてくれるので、集中がとぎ

れないこと。／英語を話すということへの抵抗感が減った点。／普段は調べないであろうジャンルの単語なども調べ、知ることができる／自分の英語を読む速さを意識できる／社会問題について知ることができる／日本人が間違えやすい英語の発音を改善できる／／先生が日本語を話さない点。／授業の進め方 先生の話し方／発音の練習はこれまでほとんどしたことがなかったので、とても意味のあるものだった。／歌詞を埋めるのは楽しみながらできてよかった。／全体的にグループが多く、新しい友達を作るきっかけにもなるし楽しかった。／教授／発音ができること／わかりやすい／授業が英語で行われること／教授が英語で授業を行ってくれるので注意深く授業を聞く姿勢を維持できる点。

●改善すべき点（学生コメントを未編集ですべて転記）

特になし／特になし／もう少しトークの形式が欲しい。／各パートの時間配分／特になし／特になし／とくになし／遅刻にきびしい つらい大変 泣きそう／特になし／毎週の課題が多い／特になし／無情なポイント制／リスニングがやや難しい／自分が書いたスピーチ原稿を返却してほしい。／生徒が英語を話す機会をもっと増やしてほしい。／特にない。／なし／リスニングが上手にできるような訓練をもっと受けたいです／質問のときは日本語で話させてほしい／ディクテーションの解答用紙をもう少しゆっくり回収するべき。／特にありません。／少し課題が多い／特にありません／特にありません。／生徒全員が英語でしゃべる機会をもっと増やしたほうがいい／遅延のときにリスニングテストが受けられない／スピーチ内容に少しヒントがほしい／特になし／リスニングのスクリプトをもう少ししてほしい。／ディクテーションのテストの音源のゆっくりバージョンなどがあるといいなと思いました。／スピーチシートの書き方の例をもう少し詳しく知りたい／スピーチのテーマが分かりにくいものがあった／トピックの対策をもっとしてほしい。／課題についての解説／授業はじめに行うニュースの聞き取りのテストの難易度が高かった。／特になし／特になし／特になし／より丁寧な発音の指導／特になし。／

●石川から皆さんへ～Q1 に対する教員振り返りと Q2 での改善コミットメントについて～

（総合満足度等について）

・8 点を超えており、一定の評価が得られましたので、Q2 も基本的には同じスタイルで進めていきたいと思います。

・3 理念については、ELF と内容志向（英語の手段化）については Q1 修了時点で高い理解度が得られましたが、英語を通した論理思考の開発については成長の実感がやや不足していることが確認できました。Q2 ではスピーチなどで多面的なものの見方をいっそう強調していくとともに、適宜、英語での論理思考クイズ等も組み込み、英語力と論理思考力のバランスの取れた発達を目指します。

(評価点について)

・「すべて英語で授業すること」「リンガフランカコアモデルに基づく子音の発音指導」「英語を聞いたり話したりする機会が多いこと」「能動的な授業であること」「グループ活動」などの点が支持されました。これらの点については Q2 でも大切にしていきたいと思います。

(改善点について)

・一方、いくつかの点について改善提案もなされました。

1 点目は、学生側の発話量の一層の増加についてです。この点については、毎回の準備なし (impromptu) 会話の時間を長くする対策を講じたいと思います。

2 点目は遅刻への対応についてです。厳しいという意見が散見されましたが、皆さんが入っていこうとするビジネスの場では時間を守ることは最低限のマナーであり、この点については、あいすみませんが Q2 も引き続き厳しく対応させていただきます。電車が遅れること、バスが遅れることもあります。それらも含めての自己責任です。皆さん、お忙しいとは思いますが、少し早めに家を出て、余裕をもって教室に入れるようご協力願います。

3 点目はディクテーションの難しさや時間の不足についてです。この授業では、その場で2回聞いて回答を書き、提出するというスタイルを取っていますが、予習として何度も聞いてきてほぼ内容がわかっていることを前提にしているため、あえて回答時間を短くしています（その場で聞くのは念のための確認という意味合いのみです）。実際の英米ニュースの実物音声を使っているので一定の歯ごたえがあるのは事実ですが、回を重ねることで聞き取りの慣れも進みます。国際ビジネスの世界に身を置こうとしている皆さんには、日本人用に加工されたイージーな英語ではなく、実社会で要求される「本物の英語」と格闘していただく経験を Q2 も積んでももらえればと思います。それこそがビジネスで要求されるレベルのリスニング力を獲得する唯一の方法です。

4 点目はせわしない感じがするという点についてです。この点については全体を調整し、個々のタスクにおいてゆとりを確保できるよう留意します。

最後に、5 点目はスピーチシートについてです。現在のシステムでは毎回学生の代表作 2 点を取り上げて添削・コメントを付けたものを全員にフィードバックしていますが、より良いスピーチ原稿が書けるよう、新しいテンプレートを開発してお配りしたいと思います。また、授業終了後の休み時間に質問に来ていただければ適宜個別にもアドバイスしたいと思います。

以上、貴重なコメントをありがとうございました。「良い授業」というのは教師と学生の協力 (コラボレーション) によってはじめて実現します。教師だけががんばっても、学生だけががんばってもなかなかうまくいきません。今後とも、ベストの指導を提供できるよう、当方も努力を続けてまいりますので、皆さんのほうでも、しっかりそれを受けとけ、学びの充実を図っていただきたいと思います。ELF／論理／世界をキーワードとして、Q2 も楽しく

学んでいきましょう！

2017 年度（平成 29 年度）前期

神戸大学石川慎一郎研究室 English Communication 中間授業評価アンケート結果

実施日：2017/5/31（Q1 の 7 週目）

実施方法：オンライン（無記名）

回答率：当日の出席者全員

水 3（工学部建築学科 1 年） N=40

●総合満足度、および、本授業の格となる 3 理念（ELF, 論理思考, 世界の時事問題を中心とする内容志向）に対する理解度（いずれも 10 点満点）

経済・経営	満足度	理解度		
		ELF	論理思考	内容志向
Av	8.23	4.03	3.80	4.15
SD	1.29	0.70	0.72	0.74

●評価できる点（学生コメントを未編集ですべて転記）

先生の英語がすごく聞き取りやすい／簡単な英語を話してくれること／英語を話さなければならぬところ／発音練習／授業の最初の小テストの音源を配布してあらかじめ対策が取れるようになっていた点／先生の英語がとてもわかりやすい。／授業が英語でおこなわれることで、英語のリスニング能力が上がった気がした。／すべて英語で授業が行われているところ。／能動的な授業スタイル／英語でコミュニケーションを取れる機会が得られる／授業を全て英語で進めてくれる点。／学習内容やその切り口が新鮮でよかった。／音楽の聞き取りテスト／実際に生徒の発音を聞き、指導してもらえるところ。／授業が英語で行われること／音楽の歌詞を埋めたり、その歌手についての情報を英語で埋めるのが楽しい。英語を身近に感じる事が出来る。／授業が英語で行われるがなにを言っているのかわかる。／時間の配分がよい。／実践的に学習できた。／発音の練習ができる。自分の言いたいことを言う練習ができる。／英語だけではなく、様々な時事と向き合えた。／生徒参加型授業／スピーキングの練習ができた。／先生の英語がとても聞き取りやすい／飽きない授業展開／・すべて英語なので聞くために集中できる点／・リスニングの勉強になる点／・授業がすべて英語で行われること・英語の発音を詳しく教えてくれること／発音を見直せる。知識が増える。／授業は全て英語で行われるが、状況などは日本語で面白く再現してくれるので、わかりやすいし、楽しく聞いている。参加もしやすい。／授業がすべて英語で行われること／英語レポートで作文能力が鍛えられたと思う。／暇することなく楽しく学習できる。／リスニング問題の予習ができたところ／授業がすべて英語であること／リスニング力を鍛えることができる／基本的に英語で授業が進められる点。／新しい事柄に

ついて知ることができる点。／リスニングの予習ができたこと／英語で授業が進められるところ／英語で授業をするので英語に慣れることができる。／テンポがいい／完全に英語で授業が進むので、英語のリスニング力がついたと思う。

●改善すべき点（学生コメントを未編集ですべて転記）

重要な情報も英語で発表するので聞き漏らしがないか不安になる／ディクテーションのレベルが高い／特になし／全員の前の発表／後ろのほうの席の人は当てられる回数が少ない点。／特になし。／授業の予習を、スピーチかディクテーションのどちらかにしてほしい。／指示が早口／課題が多い／1分間スピーチの添削をしてほしい／スピーチ原稿を提出の1週間後または2週間後には添削して返して欲しいです。／授業内容の復習がしづらい／みんなの前で発音テストをすること／とくにありません／特になし／フリートーク？はやっていてそんなに面白くない／特になし／自分たちがしゃべる時間が短い／もう少し話をゆっくりしてほしい／TOEICについて、もうちょっとだけでいいから教えてほしい。基本的に特になし。／添削を返してほしい。／特になし／歌の聞き取りが難しい／パソコンが使っていないときに邪魔になる／課題が大変／毎回のレポートは少ししんどかったこと／小テストの回収が早すぎて解答用紙を切り離す時間がない／スピーチを添削して個人に返してほしい。／特になし。／リスニングの時間が短い／ディクテーションの時間が短すぎる。／ディクテーションの復習の時間を設けてほしい。／もっと普段からTOEICの対策をしてほしい／リスニングの時間が短い／特になし／授業の速度が少し速い／TOEICの対策をもっとしたい／一つの作業に時間があまりないところ／フリートークで同じ人と話している場合が多いこと／発音のテストで自分の番で間違えてほかの人が答えたことがあって、もう少しゆっくり、静かな環境でしたほうがいいのではと思った。

●石川から皆さんへ～Q1に対する教員振り返りとQ2での改善コミットメントについて～（総合満足度等について）

・8点を超えており、一定の評価が得られましたので、Q2も基本的には同じスタイルで進めていきたいと思います。

・3理念については、ELFと内容志向（英語の手段化）についてはQ1修了時点で高い理解度が得られましたが、英語を通した論理思考の開発については成長の実感がやや不足していることが確認できました。Q2ではスピーチなどで多面的なものの見方をいっそう強調していくとともに、適宜、英語での論理思考クイズ等も組み込み、英語力と論理思考力のバランスの取れた発達を目指します。

（評価点について）

・「すべて英語で授業すること」「リンガフランカコアモデルに基づく子音の発音指導」「英語を聞いたり話したりする機会が多いこと」「能動的な授業であること」「グループ活動」な

どの点が支持されました。これらの点については Q2 でも大切にしていきたいと思います。

(改善点について)

・一方、いくつかの点について改善提案もなされました。

1 点目は、学生側の発話量（「自分たちがしゃべる時間」）の一層の増加についてです。この点については、毎回の準備なし（impromptu）会話の時間を長くする対策を講じたいと思います。また、フリートークの相手については違う人と組めるよう工夫します。

2 点目はディクテーションの難しさや時間の不足についてです。この授業では、その場で 2 回聞いて回答を書き、提出するというスタイルを取っていますが、予習として何度も聞いてきてほぼ内容がわかっていることを前提にしているため、あえて回答時間を短くしています（その場で聞くのは念のための確認という意味合いのみです）。実際の英米ニュースの実物音声を使っているので一定の歯ごたえがあるのは事実ですが、回を重ねることで聞き取りの慣れも進みます。日本人用に加工された英語ではなく、実社会で要求される「本物の英語」と格闘していただく経験を Q2 も積んでももらえればと思います。

3 点目は TOEIC 指導についてです。Q1 では、1 回のみ、特別 Workshop として TOEIC の概説講義を行いました。が、「研究大学」である神戸大の英語教育では、TOEIC 等の資格試験指導を主な内容として取り扱わないという申し合わせがあります（そもそも英語は世界とつながるための道具であって、試験のための英語なんてさみしいと思いませんか？）。対策の基礎となるコツはお伝えしましたので、後は、各自で対応をお願いしたいと思います。また、課外で個別に相談に来ていただければ適宜アドバイスします。

4 点目はスピーチシートの添削希望についてです。現在の 1 クラスの学生人数（約 40 人）では全員のものを個別に添削することは物理的に不可能ですので、毎週比較的良好に書けているものをランダムに 2 本選んで私が添削とコメントを書き、全員にフィードバックしているわけですが、結果的に、同じ人が複数回選ばれることもあったようです。ついては、Q2 では、添削希望者のスピーチシートを優先的に添削対象にしたいと思います。授業で全員に返す添削フィードバックのサンプルに選んでほしい人は、本日中に、クラス・氏名・学生番号を明記の上、石川宛、メールでご連絡ください（件名は、「水 3：添削希望」としてください）。1 回 2 本、5 回の授業で最高 10 人まで、先着順でご希望を受け入れます。ただし、どの回に選ばれるかはお任せください。また、これ以外でも、授業終了後の休み時間やオフィスアワー等にきていただければ簡単なアドバイスを個別にいたししたいと思います。

以上、貴重なコメントをありがとうございました。「良い授業」というのは教師と学生の協力（コラボレーション）によってはじめて実現します。教師だけががんばっても、学生だけががんばってもなかなかうまくいきません。今後とも、ベストの指導を提供できるよう、当方も努力を続けてまいりますので、皆さんのほうでも、しっかりそれを受けとけ、学びの充実を図っていただきたいと思います。ELF／論理／世界をキーワードとして、Q2 も楽しく学んでいきましょう！

2017 年度（平成 29 年度）後期

神戸大学石川慎一郎研究室 English Communication 中間授業評価アンケート結果

実施日 2017/11/15

担当クラス：医学部（水 4）

満足度平均 7.8

3 観点についての理解：ELF 4.1, 論理思考 3.9 内容志向 3.9（5 点満点）

◎評価点

発音の講義があった点／目的が明確でやりがいがあった。／発音について基礎から教われるところ／意外と楽／発音練習がある／退屈しない／90 分でも飽きがなかった／参加型の授業であること。／知恵袋とか TOEIC のブログ紹介が面白かった／英語が聞き取りやすい／授業がスムーズ／単に英語の勉強だけでないこと／もりだくさん／英語を話す能力が増えたと思う／授業を聞くだけでなく、生徒が能動的に学ぶことができる点。／スピーキング、リスニングなどが一度の授業で学べる点。／教授がすべて英語で話しているところ／コミュニケーション能力が向上する／英語がわかりやすいところ／教師の英語がわかりやすい／コミュニケーション能力が上がった気がする。／英語でしゃべることに慣れる／教えるための授業ではなく使えるようにする授業だった。／英語が多い／90 分間で飽きないように様々な活動ができる点。／講師が面白いです。／発音など、実用性の高いことを教えてくれたのでよかった／音楽のディクテーションなどが独創的で面白かった／発音を先生が聞いてくれる点／英語で文化を学べる。／いい／英語での授業／英語の発音練習がよかった／先生の英語が分かりやすい／他の英語の授業のような、読んで和訳といった授業ではなく、毎回しっかり練られた質の高い授業を展開してくださる点／全てを英語で話してくださるので自然と聞く英語量が増えている点／

◎改善点

特になし／特になし／特になし／宿題を減らすべき／スライドに英語を増やす／特にない／ちょいちょいディスるところ／公欠や遅延でも配慮されないこと。／宿題が多い／テストの難易度を下げてほしい／英語が苦手な生徒のことを考慮すべき／単調になること／授業内にすることおおくたいへん／なし／特になし／宿題が多い／英語を話す段階をもうちょっと踏んでほしい／音楽の音質を上げて欲しい／課題がしんどい。／予習が大変／発音テストにやり直しの機会を／話す内容が思いつかない／もっとネイティブの人たちのような発音も聞き取らせるようにしてほしい。／発音の評価基準がよくわかりませんでした。厳しすぎませんか。／特になし／たまに授業内の英語が聞き取れずに進んでいくところ／特になし／提出したスピーチを添削してほしいです。／ない／なし／特にないです／席は毎回ランダムで先生が決めていろんな人と話せるようにすると思う／日常からの英

語に対する姿勢は成績にあまり反映されていないような気がした。

◎担当講師より：Q3 の総括と Q4 での授業改善について

授業評価アンケートへの御協力ありがとうございました。満足度が 7 ポイントを超えていますので、基本的にはこのスタイルで Q4 も継続していきたいと思います。

まず、評価点については、(1)発音を重視していること、(2)授業の進行が計画的であること、(3)英語で授業を進行していることなどが多くあがりました。これらの点については Q4 野授業でも大切にしていきたいと思います。

一方、改善点については、複数のクラスでいただいた意見を整理し、以下の 7 点について、Q4 以降、改善を行うこととしました。

English Communication (Ishikawa) Q4 からの変更点

- (A) 会話の相手が単調になりがち→ (A') 席替え
 - (B) ディクテが難しく予習が負担→ (B') ディクテ問題の一部事前開示
 - (C) スピーチの添削機会がほしい→ (C') スピーチシートのフィードバック
 - (D) 発話力の伸びが実感できない→ (D') プレペアードスピーチの「原稿なし」への移行+インプロンプトスピーチの 2 回化
 - (E) 発音テストの基準がわからない→ (E') 発音テストの基準の明示化
 - (F) 作業が多くあわただしい→ (F') 作業時間の確保
 - (G) 音源などを再度 DL したい→ (G') 音源・シートなどの再ダウンロード
- ※詳細は、Q4 授業解説プリントをご覧ください。

※なお、ディクテーションの予習については、パソコン上でファイルを再生するときに、聞き取れるところまで段階的に話速を落とし、反復リスニングを行う方法が効果的です（やり方は、<http://bit.ly/2iAmp7e> などをご覧ください）。

今回、授業の改善のため、貴重な提言をいただいたことに改めて感謝申し上げます。また、Q4 開始後であってもご意見があれば遠慮なくお知らせください。教員と学生の建設的な協働により、より良い学びが実現できればと考えています。

2017 年度（平成 29 年度）後期

神戸大学石川慎一郎研究室 English Communication 中間授業評価アンケート結果

実施日 2017/11/20

担当クラス：国際人間（月 1）

満足度平均 7.2

3 観点についての理解：ELF 3.7, 論理思考 3.3 内容志向 3.4（5 点満点）

◎評価点：発音をしっかり練習できた。／眠たくなならない／発音のことをよく知れた／テンポがよい／高校までで詳しくしていない発音について授業する点。／毎回即興で話す練習ができること／英語が聞き取りやすい／英語をよく使うところ／自分ではなかなかしないスピーチができること。／全て英語な点／英語の知識だけではなく、英語でさまざまな話題に触れてくれるところ。／似ている発音を 1 から教えてくれる点。／歌を使った授業が楽しい／誰にでも伝わる英語を話そうという発想／実践的な英語の学習内容である点／発音の練習がたくさんできる点／会話をする機会が多い点／実践的／初の発音の授業／テキパキさまざまな内容をする点。／日本人だからこそその英語の学び方があることを教わった。／発音練習など、すべてが意味のあるものだった。／ELF が非常に聞き取りやすかった／必然と家で英語とかかわる機会が増えることと、授業中のスピーチによって自然と英語とかかわれていること／自分のリスニング能力を認知できる点／普通のリスニング問題を扱うのではなく、英語の歌詞など、とっつきやすいものを扱っている点／授業が細かくマネジメントされていて学びが多い／目的や理論がはっきりしている／スピーチのテーマがおもしろい／発音を細かく直せる／TOEIC など、これから必要な英語りよくについて学べる点／講義の進行が決まっており、何を目標としているかがわかりやすい点。／顔がにぎやか／日本語禁止、授業中はすべて英語なので、英語で考える力がつく。／説明が丁寧で授業内容がわかりやすい。／英語の練習になる。／英語の歌が毎回楽しく聴けるとこ／テーマがバラエティに富んでいて楽しい。／英語が聞き取りやすい／友達と実際に英語でコミュニケーションをとる時間があること。／英語の局のチョイスがとてもいいこと／先生の英語が聞き取りやすく、話もとても面白いところ。／今まで練習してこなかった発音の方法について深く学べた点／平常点がつくところ

◎改善点：特になし／朝からそのテンションについていくのが難しい／課題が多い／よくわからないまま進んでいってしまうときがある／電車の遅延などを認めない点。／毎回スピーチとディクテーションの準備が大変です／先生の笑顔が少し怖いので、やさしく笑ってほしい／スピーチのコツが知りたい／予習用のリスニングの音源が速い。／授業の進度／もっと宿題を出してほしい。／クラス全員の前で発音して評価までされる点。／リスニングテストが難しすぎる／先生のノリに朝一だについていけない／最初から内容がハードだ

った点／特にありません。／遅刻を一切認めないのはやりすぎ／発音をもう少し時間とってほしい。／特になし／笑顔が怖い。／発音のコツをもう少し詳しく教えてほしい。／リスニング能力が上がった実感がない点／やむを得ない場合の欠席や遅刻があった場合、平常点はなくてもいいから授業内容を知りたい。とても有益な内容なので。／特になし／もう少し身近な課題でスピーチ原稿を書きたい／月曜 1 限から先生のテンションがきつい　しゃべりかたがしんどい／歌の選択が独特。／スピーチ／課題に対する評価がわかりにくい。／発音の良し悪しは声の質もあるので、一人ずつ言うのはよいが、それを評価には加えないでほしい。一生懸命に発音しているのに良い点をつけられた試しがない。／頭を休める時間がほしい。90分フル回転で体力消耗／すべて英語なので先生の言うことがすぐわからないときがある。／朝からこのテンションはしんどい。宿題いらない。／p c 画面を切るのが早い。／特にネットで検索するときの URL／リスニングが難しいところ。／たまに先生が何を話したかがわからない／即効スピーチなど実力の差が出る

◎担当講師より：Q3 の総括と Q4 での授業改善について

授業評価アンケートへの御協力ありがとうございました。満足度が 7 ポイントを超えていますので、基本的にはこのスタイルで Q4 も継続していきたいと思います。

まず、評価点については、(1)発音を重視していること、(2)授業のねらいや進行が明確であること、(3)英語で授業を進行していることなどが多くあがりました。これらの点については Q4 野授業でも大切にしていきたいと思います。

一方、改善点については、複数のクラスでいただいた意見を整理し、以下の 7 点について、Q4 以降、改善を行うこととしました。

English Communication (Ishikawa) Q4 からの変更点

- (A) 会話の相手が単調になりがち→ (A') 席替え
 - (B) ディクテが難しく予習が負担→ (B') ディクテ問題の一部事前開示
 - (C) スピーチの添削機会がほしい→ (C') スピーチシートのフィードバック
 - (D) 発話力の伸びが実感できない→ (D') プレペアードスピーチの「原稿なし」への移行＋インプロンプトスピーチの 2 回化
 - (E) 発音テストの基準がわからない→ (E') 発音テストの基準の明示化
 - (F) 作業が多くあわただしい→ (F') 作業時間の確保
 - (G) 音源などを再度 DL したい→ (G') 音源・シートなどの再ダウンロード
- ※詳細は、Q4 授業解説プリントをご覧ください。

なお、ディクテーションの予習については、パソコン上でファイルを再生するときに、聞き取れるところまで段階的に話速を落とし、反復リスニングを行う方法が効果的です

(やり方は、<http://bit.ly/2iAmp7e> などをご覧ください)。また、遅刻された場合も、ディクテーション以外のポイントは減点せずそのままつけていますのでご確認ください。

今回、授業の改善のため、貴重な提言をいただいたことに改めて感謝申し上げます。また、Q4 開始後であってもご意見があれば遠慮なくお知らせください。教員と学生の建設的な協働により、より良い学びが実現できればと考えています。

2017 年度（平成 29 年度）後期

神戸大学石川慎一郎研究室 English Communication 中間授業評価アンケート結果

実施日 2017/11/20

担当クラス：経済学部（月 2）

満足度平均 7.4

3 観点についての理解：ELF 3.7, 論理思考 3.4 内容志向 3.6（5 点満点）

◎評価点

雰囲気／公用語が英語／英語力が上がりそう／授業内容が面白い／授業のほとんどがわかりやすい英語で行われていること。／英語をしゃべる機会があること／すべて英語で授業を行うところ／オールイングリッシュなのに英語がわかりやすいので聞き取れる／授業での使用言語が一貫して英語だった。／日本語を授業中使わない点／発音の練習／発音練習／細かいプログラムにわかれていたこと。／わかりやすかった／歌を聞けるところ／授業内容は充実でたくさんのことはこの授業でしか勉強できない。／オールイングリッシュであるところ。／ハイレベルな内容だと思う。／授業がほとんど英語なのは難しいが、少し楽しかった。／先生がおもしろい／TOEIC の対策授業を行っていたこと。／授業しながら英語を一時間半聞き続けることができること

◎改善点

課題／課題がきつい／なし／課題が難しい点／特になし／授業のレベルが少し高すぎると思った／リスニングと発音のテストが難しすぎる／たまに早口になってきこえない／発音のところはもう少しわかりやすい解説だとよかったと思う。／なし／宿題がきつい／授業効率／特になし／全部聞き取れない／リスニングのダウンロードをもっと簡単にしてほしい／点数のつけ方が厳しい、なかなか優を取れない／一番最初に配られたプリントが小さすぎて読みにくい、テストについては間違いないように日本語で知らせてほしい。／課題のスピーチ原稿のフィードバック等がないのでどこをどう直せばよいかわからない。／課題が難しい／グループワーク不公平では？／発音のテストの点数の基準を明確にすること。／スピーチ用のプリントをいつでもインストールできるようにしてほしい

◎担当講師より：Q3 の総括と Q4 での授業改善について

授業評価アンケートへの御協力ありがとうございました。満足度が 7 ポイントを超えていますので、基本的にはこのスタイルで Q4 も継続していきたいと思います。

まず、評価点については、(1)発音を重視していること、(2)授業のねらいや進行が明確であること、(3)英語で授業を進行していることなどが多くあがりました。これらの点については Q4 野授業でも大切にしていきたいと思います。

一方、改善点については、複数のクラスでいただいた意見を整理し、以下の7点について、Q4以降、改善を行うこととしました。

English Communication (Ishikawa) Q4 からの変更点

- (A) 会話の相手が単調になりがち→(A') 席替え
 - (B) ディクテが難しく予習が負担→(B') ディクテ問題の一部事前開示
 - (C) スピーチの添削機会がほしい→(C') スピーチシートのフィードバック
 - (D) 発話力の伸びが実感できない→(D') プレペアドスピーチの「原稿なし」への移行+インプロンプトスピーチの2回化
 - (E) 発音テストの基準がわからない→(E') 発音テストの基準の明示化
 - (F) 作業が多くあわただしい→(F') 作業時間の確保
 - (G) 音源などを再度DLしたい→(G') 音源・シートなどの再ダウンロード
- ※詳細は、Q4 授業解説プリントをご覧ください。

なお、ディクテーションの予習については、パソコン上でファイルを再生するときに、聞き取れるところまで段階的に話速を落とし、反復リスニングを行う方法が効果的です(やり方は、<http://bit.ly/2iAmp7e> などをご覧ください)。

今回、授業の改善のため、貴重な提言をいただいたことに改めて感謝申し上げます。また、Q4 開始後であってもご意見があれば遠慮なくお知らせください。教員と学生の建設的な協働により、より良い学びが実現できればと考えています。

2017 年度（平成 29 年度）後期

神戸大学石川慎一郎研究室 English Communication 中間授業評価アンケート結果

実施日 2017/11/20

担当クラス：工学部（月 4）

満足度平均 7.0

3 観点についての理解：ELF 3.5, 論理思考 3.4 内容志向 3.4（5 点満点）

◎評価点

発音について教えてくれるのがよかった／全て英語で行われている点／集中力が途切れにくい／特になし／テンポ／今後社会人になったときの英語の学び方がわかった／話がおもしろくて英語の要点もわかりやすい／英語がちょっときけるようになる／即興の会話／英語がわかりやすい。／発音があるところ／授業中何かしらのやることが確立されている点／特にない／英語の発音を勉強できるところ／特になし／いろんなジャンルの事柄に触れながら授業を進めてくれるので飽きなかった／先生が全部聞き取りやすい英語で話してくれること。／スピーチの能力が身につく／英語を話す練習ができる／面白い、ずっと話したり考えたりしているので眠たくなならない／生徒が積極的に授業に参加しやすい。／わかりやすい英語で授業してくれるところ／先生の話す英語が聞き取りやすい／授業計画がしっかりしていて計画どおりに進む／やることははっきりしていて時間がたつのがはやかった／先生の英語の聞き取りやすさ／意識を高く保てる／考えてくるスピーチについて解説があるところ。／発音についての練習。／スピーチのときのちょっとした表現の紹介。／発音を教えてくれるところ／toeic の対策をしてくれる／英語を話す時間があるところ／先生が英語をしゃべっているところ／発音のトレーニングができるところ／英語で授業が進められるのに、わかりやすい。／先生は英語でしか話していないが学生には先生の意図がしっかり伝わっていた。／英語の勉強でなく、英語を用いた勉強、である点／発音に関して深く掘り下げた内容を扱っていた点／授業時間中、ずっと英語で進められること／とても実践的でおもしろかったです。／発音の練習／ねえよ

◎改善点

リスニングテストが難しい！／特になし／特にない／課題の量が多すぎる／発音難しい／listening のグループワーク／リスニングテストがかなりむずかしい／リスニングテストをもうほんのすこしだけやさしくしてください。。／なし／リスニングが難しすぎる。／なし／特になし／日本語で講義をして欲しい／リスニングテストを行うまでの時間が短すぎてついていけない／特になし／スライドを進めるのが少し早い／ないです。／進行が少し早い（発音テスト前の練習時間が少ないなど）／英語で学んだことを書く時間が少ない／みんなの前での発音テストは恥ずかしくてうまくできないのでいやです／予習が大変／発音が

あの時間内では習得するのが難しく感じるのでもう少し時間をとってほしい／特になし／寝ている人がいたら教室の温度を下げる／課題の大変さ／TOEIC 対策をもう少ししてほしい／考えてくるスピーチについてほかの人の内容も見れるといいと思った。／1, 2, 3、ごっ！の部分がなくすといい／課題が多すぎた／英語を話す時間が1分では少し短い／インプロンプトスピーチの題が抽象的で少し難しい（雨という題だと日本語でもなにを話していいか少し困る。）／スピーチを書かせるだけでなくスピーチの書き方、話し方についての説明がほしい／毎回の小テストなどの時間がとても少ない。もう少し余裕を持たせる工夫が必要では。／ELF についてももう少し深く知れたかった／ELF と評して日本語なまりの強い英語を常に使い続ける点 課題説明、余地の少なさ 中途半端な欧米寄せ 何より、この授業を受けて大した力が身につくとは思えない点／特になし／毎回の宿題のレポートがどうなのか知りたいです。／リスニングの小テストが難しい／すべてにおいてうざい。日本人の発音を馬鹿にしたように真似するのやめてもらえ？好きで下手な発音をしているわけじゃないし。てかお前の発音もネイティブからは程遠いやん。それをウリにしているようやけど。プリントの字小さすぎんねん読めんのお前だけや。自己紹介の文章キモすぎるで。自分の本を紹介する先生すらそんなおらんし、受賞歴並べてるやつ始めて見たわ。ベストティーチャー賞（笑）。ニュースとか英語の曲を聴いてディクテーション？なんもおもんないわ。それが単位に関わってこんなら楽しめるんやけどな。単位に関わるんやったらちゃんとした英語を聞かせてくれや。頼むわ。とにかくきしょい。きしょい。こんな教師にあたってしまったのが運の尽きなんやろな。人間万事塞翁が馬。いいことあるのを願う。／

◎担当講師より：Q3 の総括と Q4 での授業改善について

授業評価アンケートへの御協力ありがとうございました。満足度が 7 ポイントに達していますので、基本的にはこのスタイルで Q4 も継続していきたいと思います。

まず、評価点については、(1)発音を重視していること、(2)授業のねらいや進行が明確であること、(3)英語で授業を進行していることなどが多くあがりました。これらの点については Q4 の授業でも大切にしていきたいと思います。

一方、改善点については、複数のクラスでいただいた意見を整理し、以下の 7 点について、Q4 以降、改善を行うこととしました。

English Communication (Ishikawa) Q4 からの変更点

- (A) 会話の相手が単調になりがち→ (A') 席替え
- (B) ディクテが難しく予習が負担→ (B') ディクテ問題の一部事前開示
- (C) スピーチの添削機会がほしい→ (C') スピーチシートのフィードバック
- (D) 発話力の伸びが実感できない→ (D') プレペアドスピーチの「原稿なし」への移行＋インプロンプトスピーチの 2 回化
- (E) 発音テストの基準がわからない→ (E') 発音テストの基準の明示化

(F) 作業が多くあわただしい→ (F') 作業時間の確保

(G) 音源などを再度DLしたい→ (G') 音源・シートなどの再ダウンロード

※詳細は、Q4 授業解説プリントをご覧ください。

なお、ディクテーションの予習については、パソコン上でファイルを再生するときに、聞き取れるところまで段階的に話速を落とし、反復リスニングを行う方法が効果的です（やり方は、<http://bit.ly/2iAmp7e> などをご覧ください）。

また、ELF に関して言うと、「日本人なまり」の英語を押し付けるものでも批判するものでもありません。ELF の理念は、話者の母語が何であるかにかかわらず、「わかりやすい英語」を徹底的に追及する点にあります。つまり、わかりやすい (intelligible) ものであるなら、日本語の影響を受けた発音もまったく問題ではありませんし、逆に、他の人に違う音に聞こえてしまったり、そもそも聞き取れなかったりする場合は適切なトレーニングで発音を変えていくべきだということになります。授業もそうした理念で組み立てられています。が、この点、説明が不足していたかもしれません。ここで再確認させていただきます。

最後に、今回、授業の改善のため、貴重な提言をいただいたことに改めて感謝申し上げます。また、Q4 開始後であってもご意見があれば遠慮なくお知らせください。教員と学生の建設的な協働により、より良い学びが実現できればと考えています。